

YouTubeで追い続ける夢

●5人でつくり上げた、唯一無二のチーム

レイジー ライ クレイジー
Lazy Lie Crazy (レイクレ)

●YouTuber

asa YouTube

登録者数280万人超のYouTubeグループ「Lazy Lie Crazy(レイクレ)」。関西大学卒業生のどば師匠さん、たかしさん、てっちゃんさん、ぺろ愛男爵さんと、近畿大学出身のともやんさんによる5人組は、若い世代を中心に絶大な支持を集めている。大学生活で出会った仲間と手探りで始めた動画制作だが、その道のりは順風満帆なものではなかった。再生回数が伸びない時期、コロナ禍での苦悩、チャンネルの方向性をめぐる葛藤――。

関西大学を拠点として動画制作に夢中になったメンバーたちに、大学時代の思い出から現在につながる活動の軌跡、彼らが考える「成功」について話を聞いた。



◆コンセプトは「男があこがれるチャンネル」

——どのようなグループなのか、改めて教えてください。

●どば師匠 大阪・守口を拠点に活動している5人組のYouTubeグループです。「何系YouTuber?」と聞かれるのが実は一番難しい質問で、僕らは一つの分野に特化せず、無人島に行ったり、漁師生活をしてみたり、いろいろなエンタメ企画動画を投稿しています。

●たかし 動画はメインチャンネルだけで週5本、サブチャンネルや個人チャンネルも含めると、ほぼ毎日投稿・更新していますね。YouTubeだけでなく、個人としても音楽や俳優、アパレルの分野に挑戦するなど、活動の幅を広げています。

●ともやん 結成当初からずっと掲げているコンセプトは、「男があこがれるチャンネル」です。もちろん自分たちが楽しむことも大事なんですが、「こういう仲間がいたら最高だな」とか、「こういう生き方もいいな」と思ってもらえる存在でありたい。その考え方はずっと変わっていません。

●ぺろ愛男爵 今では撮影や編集作業を支えてくれる仲間も増えましたが、それでも毎週の企画会議は必ず5人全員で行い、レイクレらしさを大切に動画制作に取り組んでいます。

◆はじまりは「とにかく有名になりたい」

——レイクレ結成のきっかけを教えてください。

●どば師匠 実は関大に入学して2日目で足を骨折したんです(笑)。



ともやん
●1997年大阪府生まれ。近畿大学附属高等学校卒業。2020年近畿大学経営学部卒業

ぺろ愛男爵

てっちゃん

●1998年大阪府生まれ。関西大学北陽中学校・北陽高等学校卒業。2020年関西大学政策創造学部政策学科卒業

●1997年大阪府生まれ。関西大学北陽中学校・北陽高等学校卒業。2020年関西大学システム理工学部機械工学科卒業

たかし
●1997年大阪府生まれ。関西大学北陽高等学校卒業。2020年関西大学文学部総合人文学科卒業

どば師匠
●1997年大阪府生まれ。関西大学北陽高等学校卒業。2020年関西大学文学部総合人文学科卒業

■特集

新入生の時期って、新歓とかで一番楽しい時期じゃないですか。でも僕は、その横を車椅子で移動していました。知り合いからも「入学早々何してんねん」って笑われて。それが悔しくて「もっと目立ちたい」と思い立って、サークルを10個掛け持ちしてみたり、「ミスターキャンパス関大」に応募してみたり。結果は予選落ちでしたが(笑)。その頃から「有名になりたい」という思いが強くなって、関大北陽時代からの友達だった、たかし、てっちゃん、ぺろ愛男爵と、Twitterに動画を投稿し始めました。

●**ともやん** 僕は近畿大学の学生でした。高校まではバスケットボール一筋で、大学に入ってからYouTuberという存在を知って、バスケ以外にも有名になれる道があるんだと思っていた時に、彼らの動画を見つけたんです。運転免許合宿での何気ない動画だったんですが、「この人たちが面白いな。一回連絡してみよう」と、全く面識はなかったんですがDMを送ってみました。今振り返ると、本当にあのDMがきっかけでしたね。

●**てっちゃん** 本格的に活動を始めたのは大学2年次の頃で、血液型も動物占いもバラバラの5人が、ここまで仲良くなって何年も一緒に活動している。振り返ると、本当に不思議ですね。

●**ぺろ愛男爵** 占い師さんに見てもらおう企画で、「奇跡みたいなバランス」と言われたこともあります。確かに誰か一人でも違う選択をしていたら、今のレイクレはなかったと思います。

——4人は関大北陽出身ですが、受験先に選んだ理由を教えてください。

●**どば師匠** 中学生の時、親と関西大学のオープンキャンパスに行ったんですよ。自然も施設も綺麗で人も多くて、とんでもない場所だと衝撃を受けて、「この大学に行けたらいいな」と思いました。その横で母には「ママの息子、関西大学って言わせて!」とささやかれていました(笑)。

関大北陽時代



▲たかし



▲ぺろ愛男爵



▲どば師匠



▲てっちゃん



▲関西大学卒業式(どば師匠)



▲関西大学卒業式(ぺろ愛男爵)



▲Lazy Lie CrazyのYouTube「1ヶ月で5人・3万円生活」のトップ画面

Lazy Lie Crazy——レイジー ライ クレイジー

■大阪府守口市を拠点に活動する5人組YouTuberグループ。略称「レイクレ」。2017年8月6日結成。「男があこがれるチャンネル」をコンセプトに、仲間との絆と遊び心あふれる動画で、中高生を中心に人気を誇る。登録者数280万人超(2026年9月現在)

●**ぺろ愛男爵** 姉が私立に通っていたこともあり、我が家では公立に行く選択肢がなくて、私立に行くものだ親に洗脳されていました(笑)。

●**たかし** 僕は兄が関大には合格できなかったんで、敵をとろうと、復讐ですね(笑)。併設校から関西大学に進学したいと思って、高校から関大北陽に入りました。

●**てっちゃん** 当時は小学生だったので正直深い理由はなくて、「関西大学を名乗れることは強い」と親の勧めで、塾に通って中学受験をしました。今振り返ると、本当に良い選択をしたと思います。

◆大学生活の中心にあったYouTube

——大学2年次にチャンネルを開設しますが、どのような大学生を送っていたのでしょうか？

●**どば師匠** 正直、YouTube活動一色でした(笑)。僕は文学部の英米文学英語学専修で、鍋島弘治朗先生のゼミでした。実は真面目な一面もあって、卒業論文のテーマは日米YouTuberの比較。日本とアメリカの動画サムネイルを100枚以上集めて比較して、見えてくる傾向をまとめました。

●**たかし** どば師匠と同じ文学部だったのですが、僕もほぼ10割



YouTube企画会議の様子

YouTubeでした(笑)。人の心理に興味があったので、心理学専修の田中俊也先生のゼミに入りました。卒業論文では、SNSにおける人の心理・心情、幼少期の愛着形成と承認欲求との関係性について、アンケートを取って書きましたね。今につながるような内容で面白かったです。

●**てっちゃん** 僕は政策創造学部出身ですが、単位が足りなくてゼミに入れなかった珍しいタイプでした(笑)。真面目に受けていた授業のミニッツペーパーを一番に提出したら、「こんなに早く書ける内容ではない」と先生に怒られたりして。要領は良い方だったのですが、学業は歯車が噛み合いませんでした。時間を見つけてはYouTubeの企画を練ったり、サムネイルを作ったり、気づけば友達よりメンバーと過ごす時間の方が多くなっていました。

●**ぺろ愛男爵** 僕は理系だったので、特に単位取得が大変でした。伊藤健先生のナノ機能物理工学研究室で、セミの翅の構造を研究していました。セミの翅には抗菌・殺菌などの機能があるんですよ。例えばドアノブとか、その構造を製品に生かすという研究です。スイミングコーチのアルバイトも4年間続けたので、勉強、バイト、YouTubeと忙しい毎日でした。

●**ともやん** 全員YouTube中心の生活でしたね。近大生だった僕

も、撮影場所がほとんど関大前だったので、関大にいる時間の方が長かったくらいです(笑)。

◆追い求めたのは「5人だからこそ面白さ」

——当初から、活動は順調だったのでしょうか？

●**たかし** 初めて投稿した動画から「これは100万再生いくわ!」と言っていました(笑)。実際は、再生回数も登録者数も全く増えず……。ただ、根拠は何もないんですが、自分たちが一番面白いという自信だけはありました。最初の転機になったのは、ともやんのバスケットボール企画です。

●**ともやん** 当時、全国大会出場選手でバスケ動画を投稿しているYouTuberはほとんどいなかったんです。絶対に伸びると思っていました。実際に公開すると、1時間で10万近く再生され、画面を更新するたびに数字が伸びて、コメントが増えていくのが本当にうれしかったです。

●**ぺろ愛男爵** ただ、その成功が新たな悩みにもなりました。僕たちはエンタメをしたかったのに、バスケ動画だけが伸びるようになって、だんだんと「ともやんと愉快な仲間たち」みたいになってしまいました(笑)。試行錯誤した結果、バスケ動画を個人チャ

■特集

lazy lie Crazy



ンネルに移す決断をしました。そこから数字だけではなく、「5人だからこそ生まれる面白さ」を追求するようになりましたね。

◆ピンチをチャンスに変えるアイデア

——大学卒業前後にコロナ禍が到来しましたが、どのような影響がありましたか？

●**どば師匠** 外で撮影するだけで批判される時代で、YouTube活動そのものが難しかったです。話し合いを重ねた結果、当時5人で共同生活をしていたので、その環境を生かして、「5人で1カ月3万円生活」や「漁師生活」といった長期企画を始めました。ただ節約するだけではなく、ゲームに勝った人が一番お金を使えるというようなオリジナルルールも考えました。

●**たかし** レイクレは、コロナ禍という逆境をチャンスに変えたグループと言っても、過言ではないと思います。当時は1本完結の動画が主流だったので、1カ月単位での連載企画をするYouTuberは少なかったんです。共同生活の動画は、個々のキャラクターを知ってもらうきっかけになりましたし、部屋の中だけでも面白く

できると続けた結果、風向きが変わりだして「레이크レってちょっと面白いね」と言っていたできるようになりました。

●**ともやん** もう一つ大きかったのが「切り抜き動画」です。当時はまだ一般的ではなく、레이크レが先駆的だったと思います。第三者がお勧めした動画は、視聴者に信頼されやすいと考え、ファンの方に切り抜き動画を作ってもらうシステムを戦略的につくりました。その結果、1日100人ほどだった新規登録者数が1,000人単位になって、30万人で足踏みしていた総登録者数も60、70万人に。2021年11月には100万人を達成することができました。

◆YouTubeに向き合う覚悟

——コロナ禍前後は、進路選択の時期でもあったと思います。

●**たかし** 停滞期を抜け出す前は、ちょうど就職活動の時期で、「就職をしない」という道を選択しましたが、「本当に生きていけるのか？」と将来への不安やプレッシャーを感じていた時期でもありました。毎日動画を投稿する大変さも合わさって、メンバーの雰囲気も絶妙な空気感でしたね(笑)。

●**どば師匠** 当時は遅刻や計画性の無さなど、学生気分から抜け切れていないところがあったんです。なので5人で「生まれ変わろう」「YouTubeにもう一度向き合おう」と、今でも続けている毎週の企画会議を始めました。企画の良し悪しを徹底的に議論して、何度も方向性を話し合っています。本音で話し合うので、衝突し合ったことも多々(笑)。でも、その日のうちに仲直りするようにしています。会議には必ず3つずつ企画案を持ち寄るので、ネタ帳のスプレッドシートには何千というストックが残っています。

●**てっちゃん** YouTuberとしては珍しいと思いますが、레이크レには出勤・退勤があるんですよ。撮影日は別ですが、編集などのデスクワークの日は、サラリーマンみたいな規則正しい生活をしています。

●**ともやん** チャンネルのブランディングもしっかり管理しているグループですね。僕らのコンセプトである「男があこがれるチャンネル」という軸がブレないように、例えば、視聴者層の割合など、細かい指標まで話し合います。7:3という男女の黄金比を保つことができているか、実は裏では微調整しながら運営を続けているんです。

◆레이크レにとっての「成功」とは

——皆さんにとって、成功とは何でしょうか？

●**ぺろ愛男爵** 自分が満足できる到達点に達した時こそが成功だと思いますが、その地点がどこにあるのかはまだ分からないんです。だから成功へ向かって、今もまだ走り続けている途中です。

●**てっちゃん** HIKAKINさんやはじめしゃちょーさん、東海オンエアさんなど、目標となる方々がまだまだいます。今に満足しているわけではなく、もっと上へという気持ちを5人全員が持っていると思います。

●**ともやん** 今思う成功は、幸せであること。どれだけ有名になっても、毎日が苦しくて無理して働いていたなら、それは成功とは言えません。ワークライフバランスを大切にしながら、幸せだと思えることが一番の成功ですね。

●**たかし** 僕はすぐ満足してしまうタイプで(笑)。でもゲームのダンジョンみたいに、目標を達成したら、また次の目標が現れるんです。ライフポイントが無限にあるのか、結局はずっと挑戦していますね。

●**どば師匠** 僕はこの5人が一番面白いと思っているので、この5人で活動できていること自体が成功です。これは最初から変わっていません。成功を目指しているというより、今も「長い成功の途中」にいる感覚ですね。

——後輩たちにメッセージをお願いします。

●**ぺろ愛男爵** 大学時代は時間がたくさんありますが、振り返ると、もっとできることがあったと思います。満足せずに、思い出もたくさん作ってほしいですね。

●**てっちゃん** 大学時代は、何にでも挑戦できるし、何者にでもなれる期間。自分に向き合って、失敗してもいいのでぜひ挑戦してほしいです。

●**たかし** 僕もただの学生でしたが、自分が分からない領域に飛び込んでみる、そこに居続ける、やり続けることで、人生が面白くなると思います。成功するか失敗するかまで責任は取れませんが(笑)

●**ともやん** その一歩が、いつか人生を大きく変えるきっかけになるかもしれません。少なくとも、僕たち5人にとってはそうでした。

●**どば師匠** 大学で先輩に言われた「すごいと思うのは、やろうとしていないから」という言葉を金言にしています。過去に「関大には、人がいる。」という関大のキャッチコピーがありました。かけがえのない人に出会える場所なので、目標を見つけて挑戦していく道中で、同じ志を持つ人を見つけてほしいですね。

as a YouTuber

